



□ 札の辻とポケットパーク

城下町の構造は、敵の進入を防ぐことから、丁字、かき曲がり、くの字といった道路形態をとる。川越は今も旧城下内に、よくその形態をとどめているが、かつて唯一の四つ角が札の辻であった。高札が立ち、街道の起点となり、商業の中心であった辻に、民地協力、周辺の協力による市内第1号のポケットパークが昭和61年に誕生した。シンボルツリーであるハナミズキと、夜間のライトアップのファンは多い。

